TOTO

施工説明書

2010.2版

スーパーエクセレントバス <ブローバスSXⅡ>

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

■ このたびはTOTOブローバスSXⅡをご採用いただきましてありがとうございました。
■ 製品の機能が十分に発揮されるように、この「施工説明書」の内容にそって正しく施工してください。
なおこの説明書は、ブローバスSXⅡの施工のみを記載しています。浴槽本体・エアブローⅡ・水中照明Ⅲの施工については、それぞれの施工説明書をご確認のうえ、正しい施工をお願いします。
■ 浴槽据付・ポンプ・電源ボックス取付工事及び電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。
■ 工事完了後は、お客様に操作説明を行い「取扱説明書（保証書付）」をお渡しください。
なお、「保証書」には必ず必要事項を記入してください。
■ 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますのでご了承ください。

もくじ

1. 安全上の注意

●安全のために必ずお守りください。

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　　　　　味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表　示	意　　　　　味
⊘	行ってはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。
⏚	必ずアース線を接続してください。

取付け工事完了後、施工説明書に記載の「確認および試運転（P.35～P.37）」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

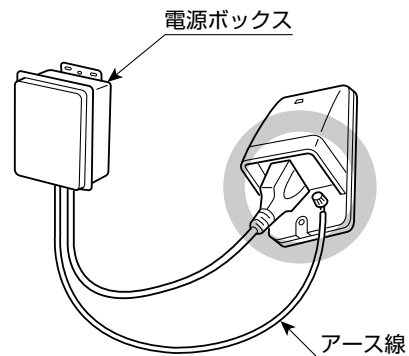
必ず実行

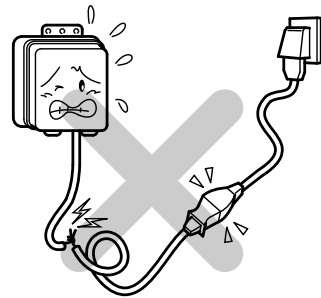
設置は、施工説明書にしたがって確実に行う

設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

アース線

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行う
また、この製品は、D種接地工事を行ったアースターミナル付防雨形コンセントを使用する

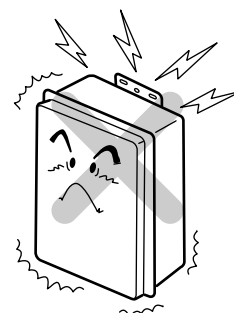
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

禁　止

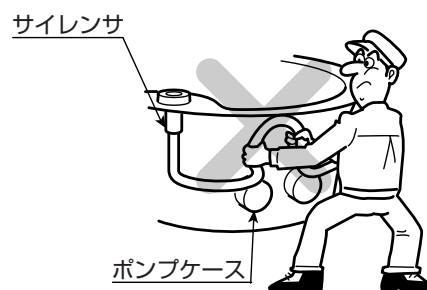
電源コードや接続コード・コントローラーコードの加工をしない
また、電源コードへの延長コードを使用、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。

⚠ 警告

 必ず実行	**電源ボックスの設置は、質量に十分耐える強度のある場所に施工説明書通りに確実に行う** 設置に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。
 必ず実行	**メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取付ける場合、電源ボックスと造営物とは電気的に接続しない** 感電や発熱・火災の原因となります。

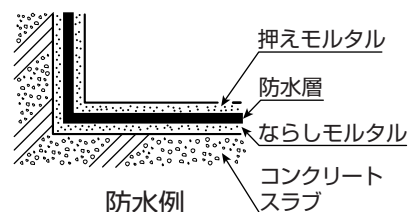
⚠ 注意

禁　止

浴槽搬入の際、エアーホース・サイレンサー・ポンプケースなどを持ったり、硬いものをぶつけたりしない

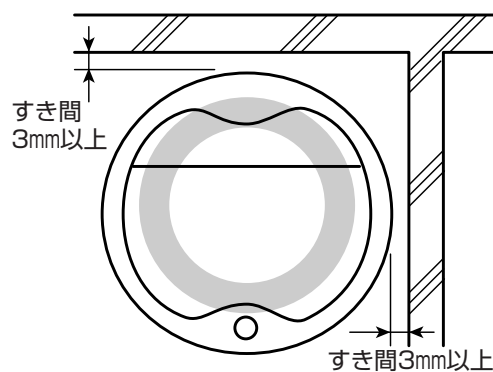
漏水により家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

必ず実行

必ず防水層を設ける

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

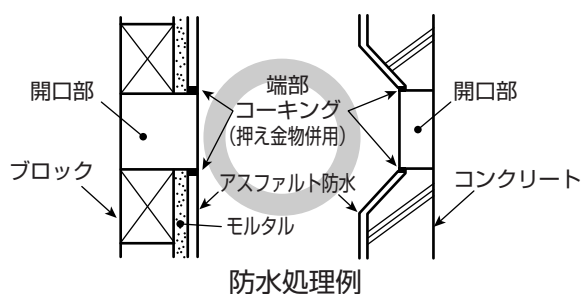
防水例

必ず実行

浴槽を据付ける際、壁・タイルと浴槽との間には、すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実に行う

浴槽の熱膨張による、タイルなどの壁材を破損や漏水により家財などへ被害をあたえるおそれがあります。

必ず実行

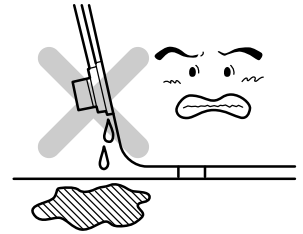
配線の取出開口部の防水処理は確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

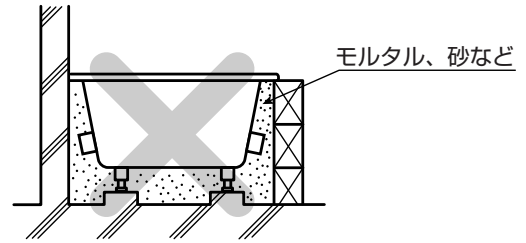
防水処理例

⚠ 注意

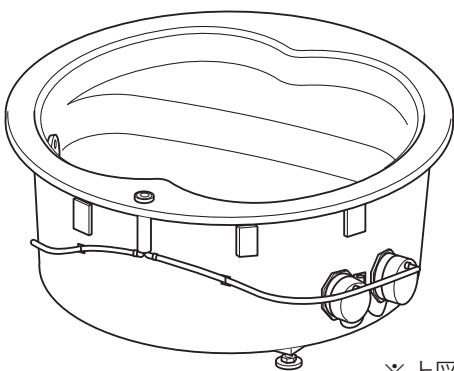
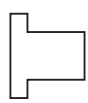
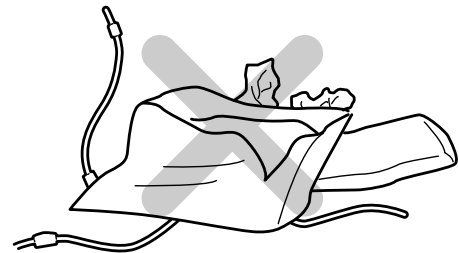
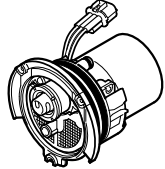
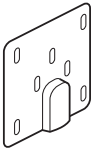
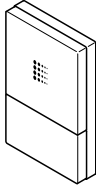
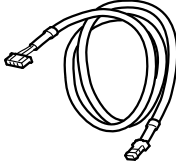
必ず実行

接続管・排水配管およびポンプの取付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

禁　止

モルタルなどで浴槽裏面を埋め込まない

浴槽破損の原因となります。

必ず実行

開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する

ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、木枠・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。

2. セット明細

●製品を開梱しましたら、下記内容にそって部品と個数を確認してください。

	品　　名	形　　状	個数
浴槽本体部	浴槽本体	※上図はPVV1420	1
	施工説明書	—	1
	取扱説明書（保証書付）	—	1
	型　紙 （PVV1820 PVV1840 PVV1610 PVV1530のみ PVV1540 PVV1400 PVY161）	—	1
	ポンプ取合確認用型紙		1
	ポンプ接続コード		2
	延長コード （PVV1620のみ）		1
	延長コード （PVV1410のみ）		2

※浴槽施工用緩衝材は現場にて手配願います。
※延長コードは、ポンプ間の距離がある場合に使用します。

	品　　名	形　　状	個数
ブローバスＳＸⅡ機能部	電源ボックス		1
	ポンプ	化粧カバー（フィルター付）　ポンプ	4
	ねじ	（M3×8）　予備４本入り	16
	点検口カバー		1
	コントローラー	タッピンねじ（φ4.2×25）2本	1
	コントローラーコード (8m)		1

3. 寸法図および仕様

3−1 ポンプと壁・床とのクリアランス寸法

（1）円形浴槽

〈PVV1640、1650〉

注　自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

〈PVV1420〉

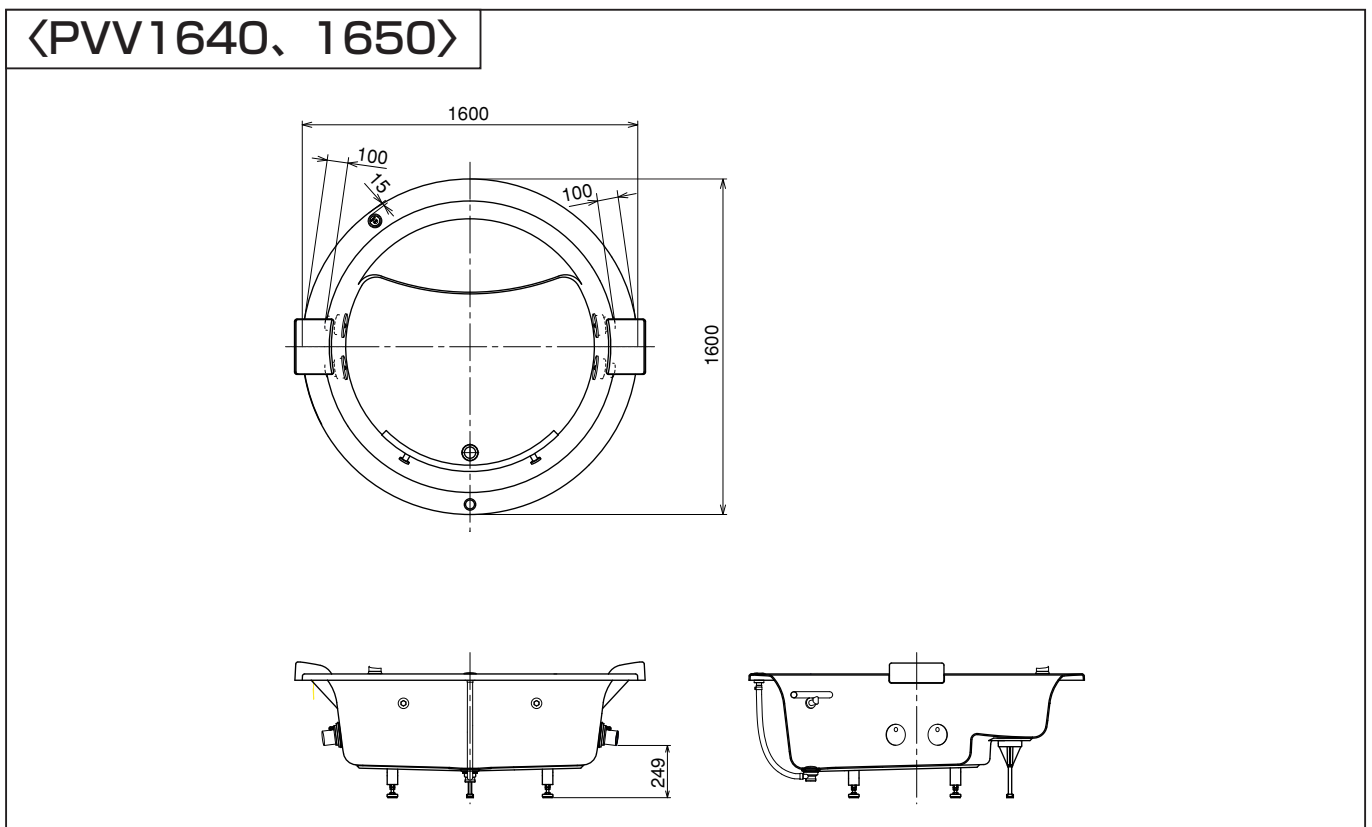
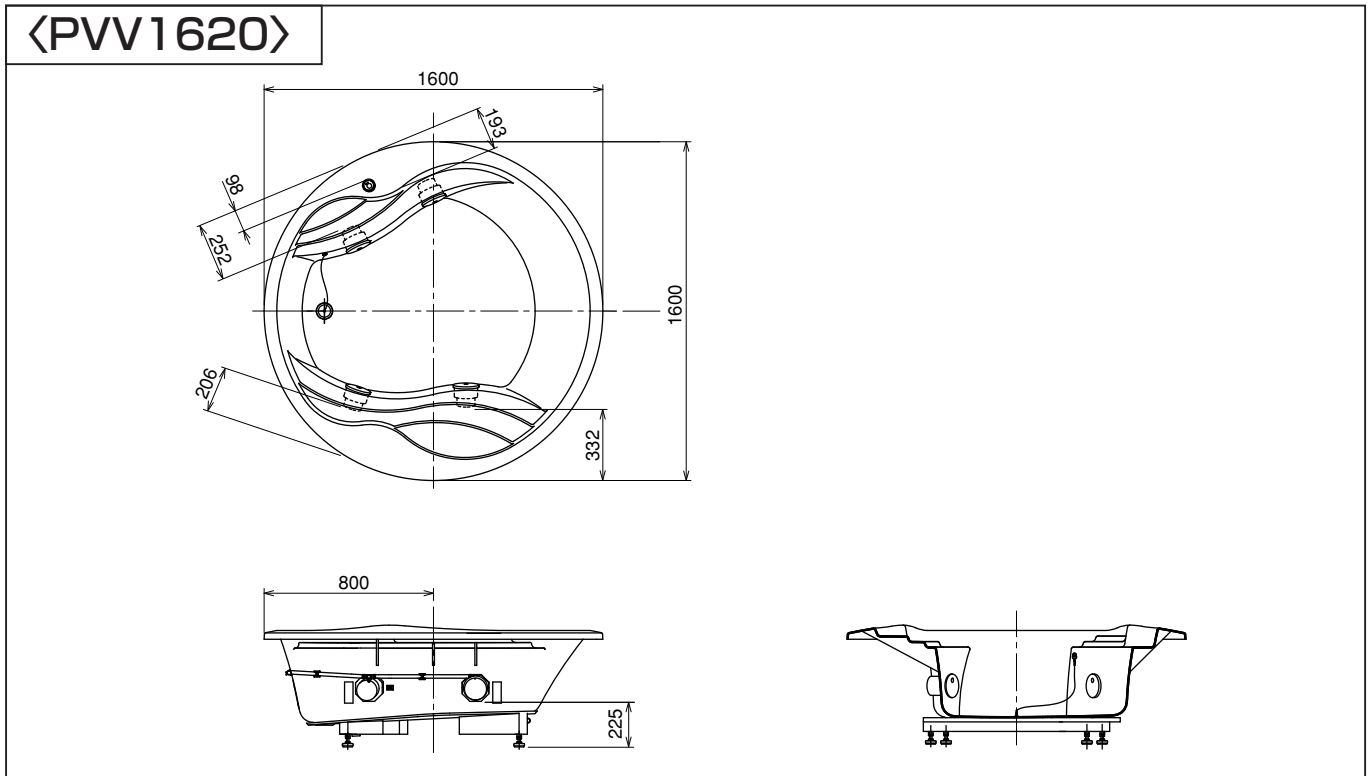
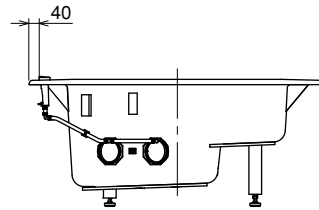
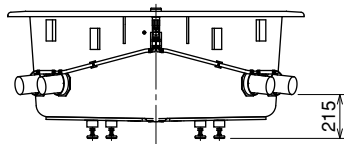
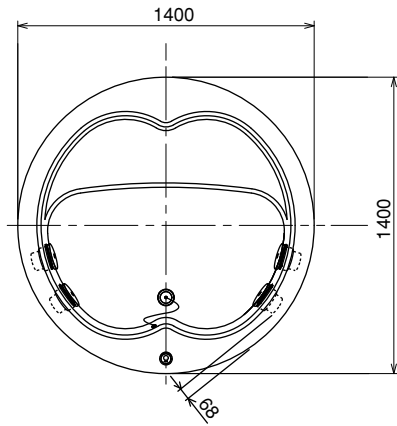
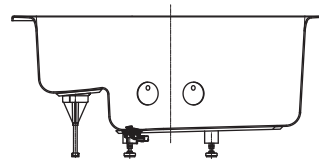
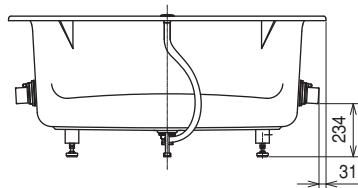
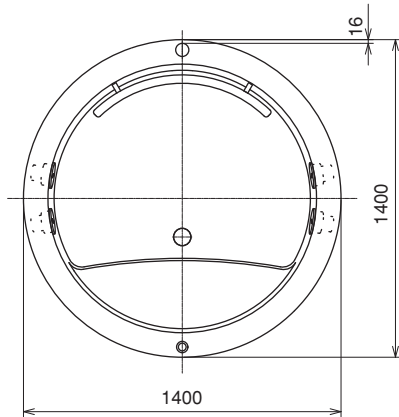
1400

1400

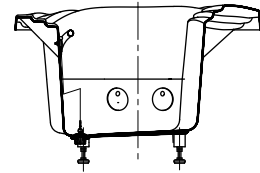
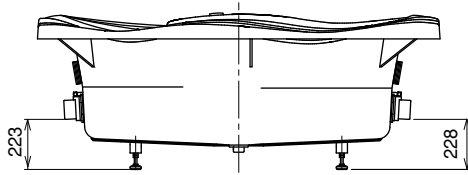
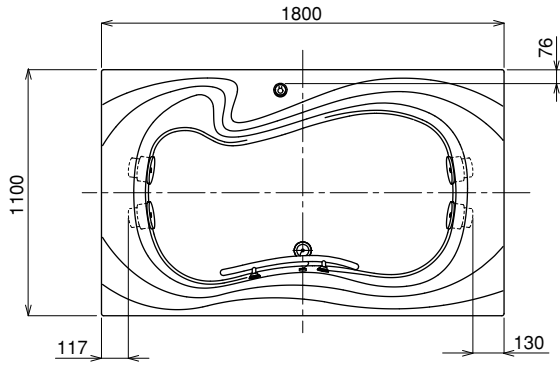
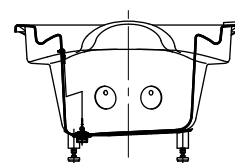
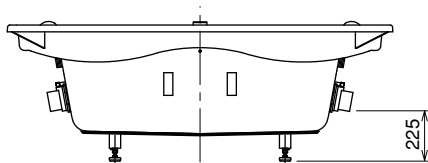
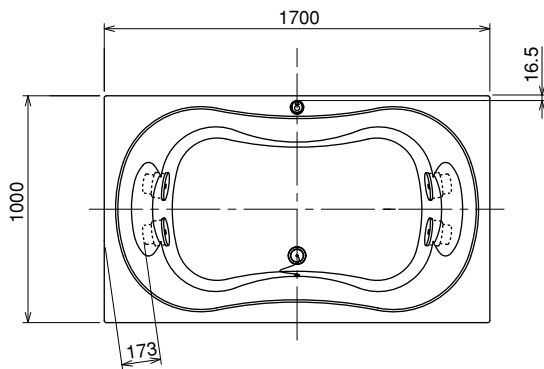
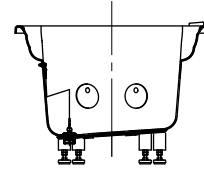
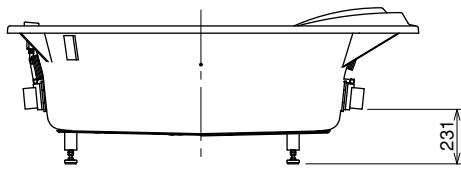
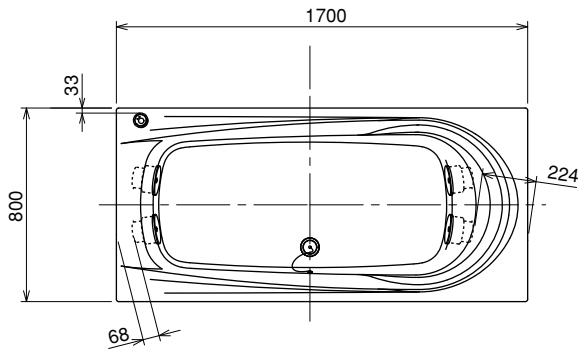
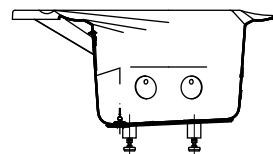
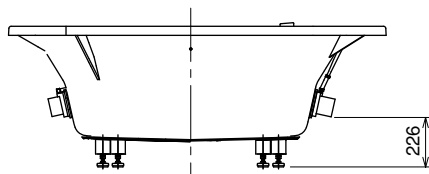
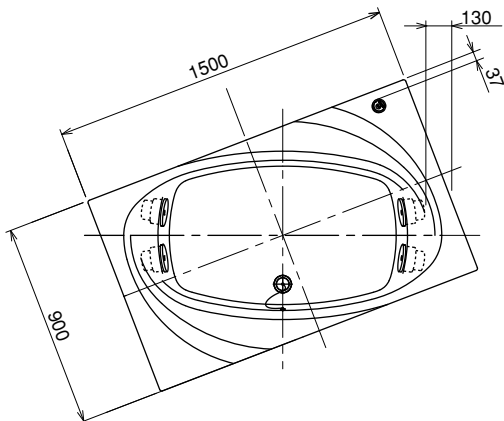
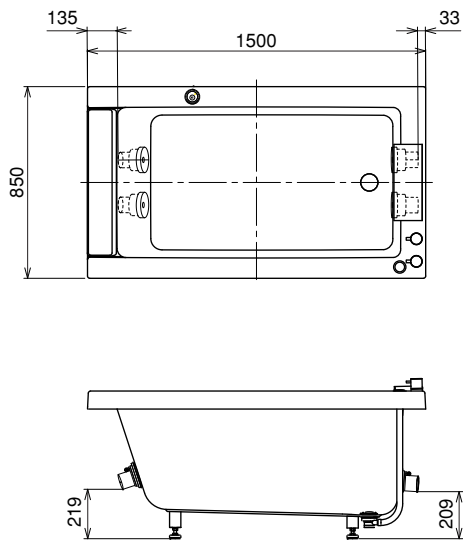
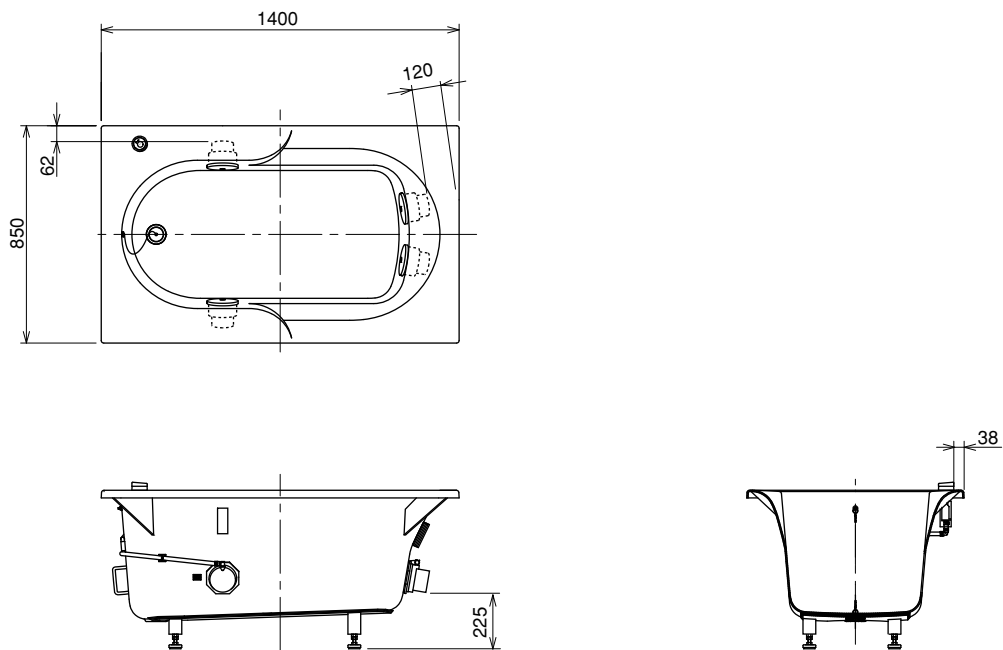
68

40

215

〈PVY140〉

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

（2）角型浴槽

〈PVV1800〉

〈PVV1700〉

注　自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

〈PVV1710〉

1700
33
800
224
68
231

〈PVV1500〉

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

〈PVV1520〉

135
1500
33
850
219
209
13

〈PVV1410〉

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

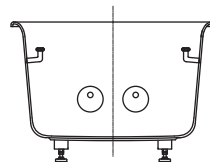
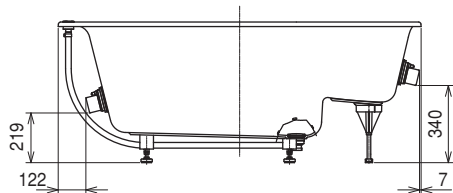
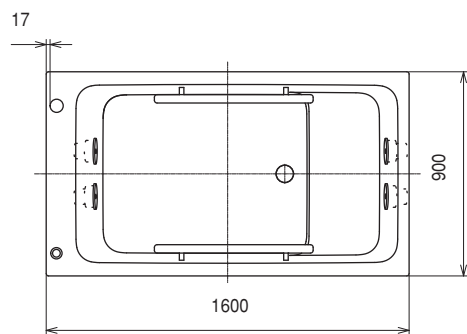
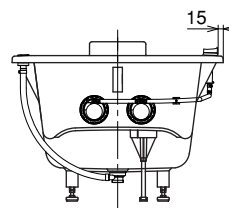
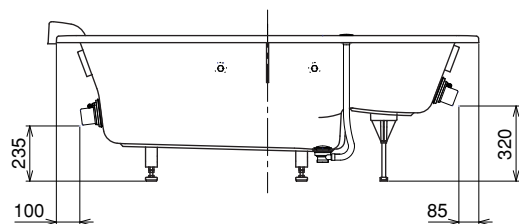
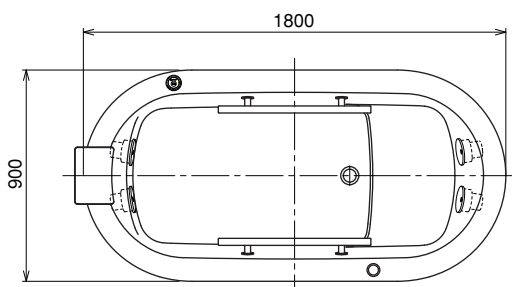
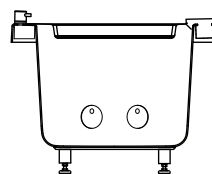
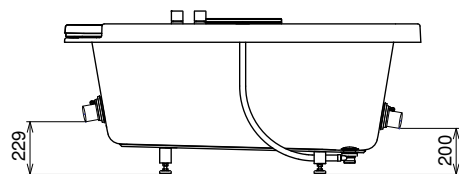
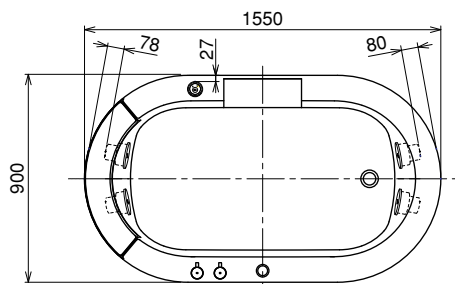
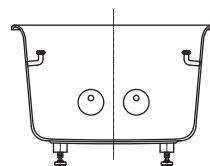
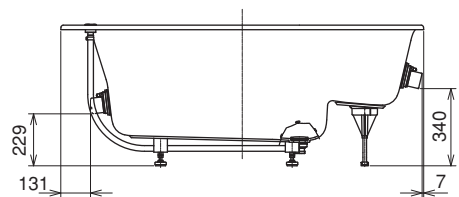
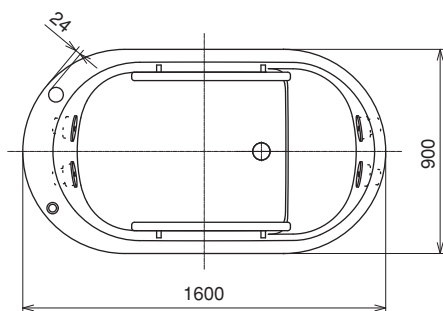
（3）だ円浴槽

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

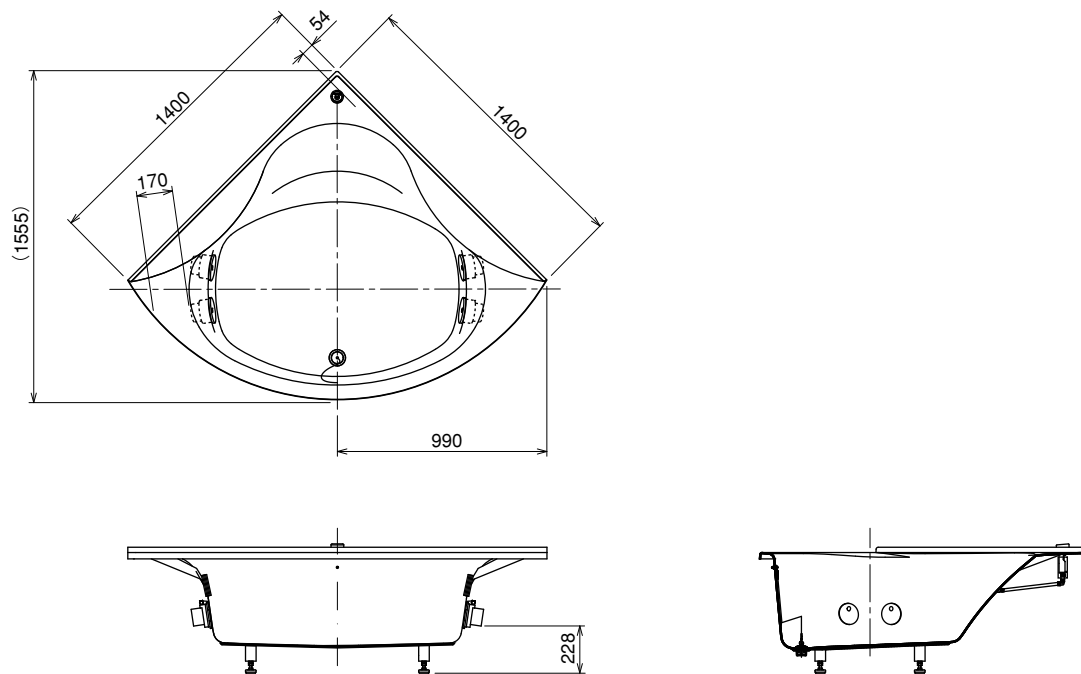
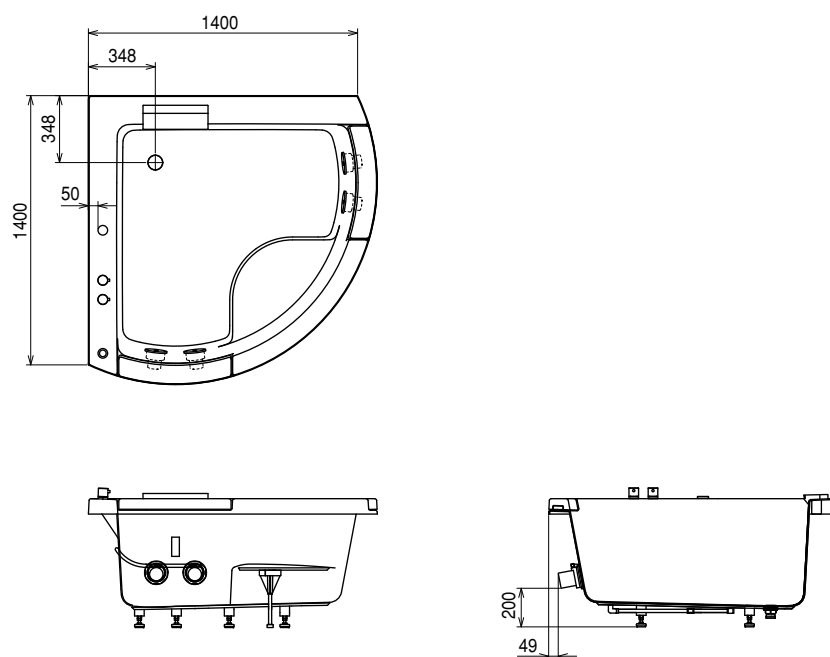
〈PVV1530〉

1550
78
27
80
900
229
200

〈PVY161〉

24
900
1600
229
340
131
7

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

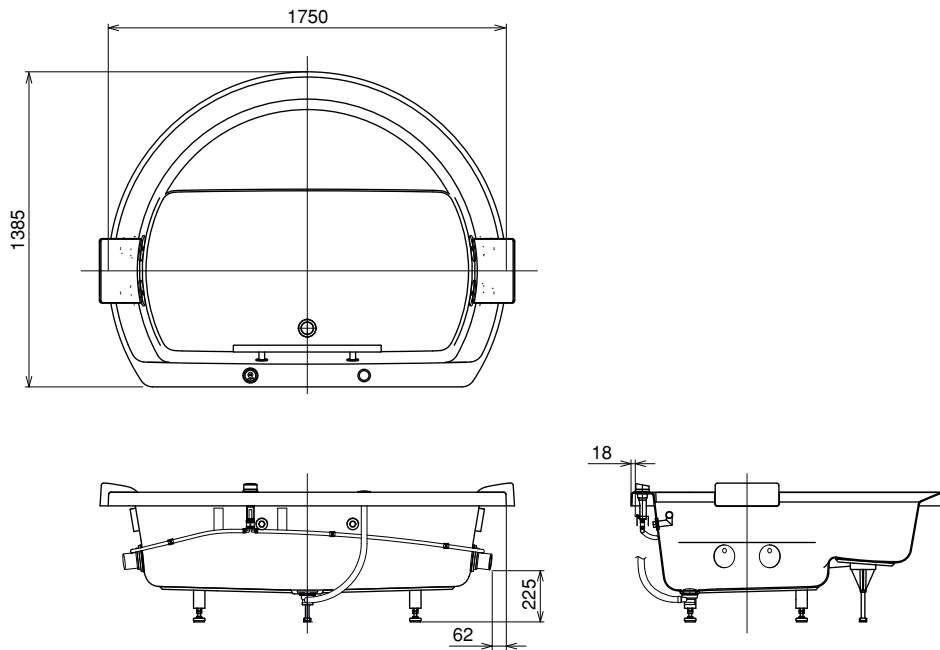
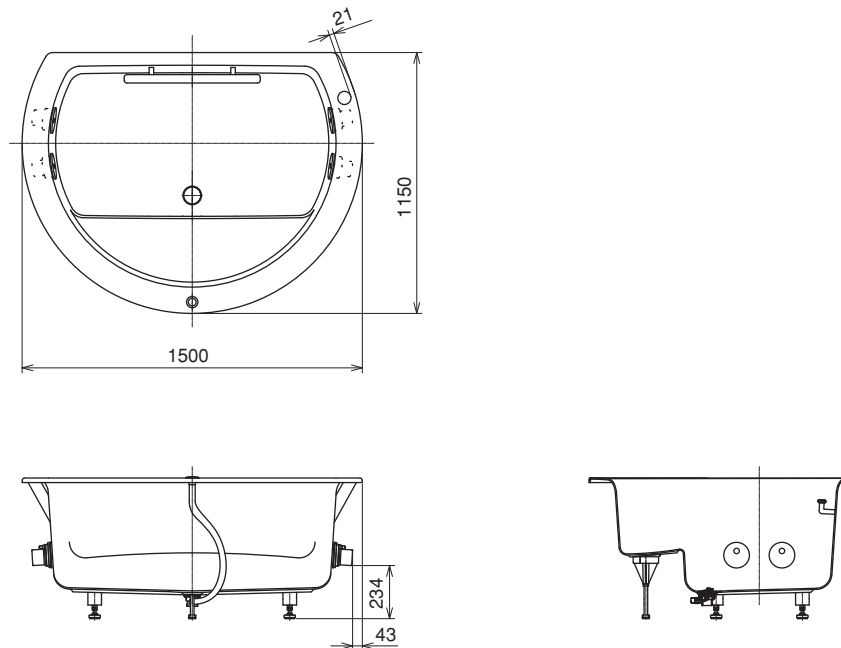
（4）扇型浴槽

〈PVV1400〉

〈PVV1540〉

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

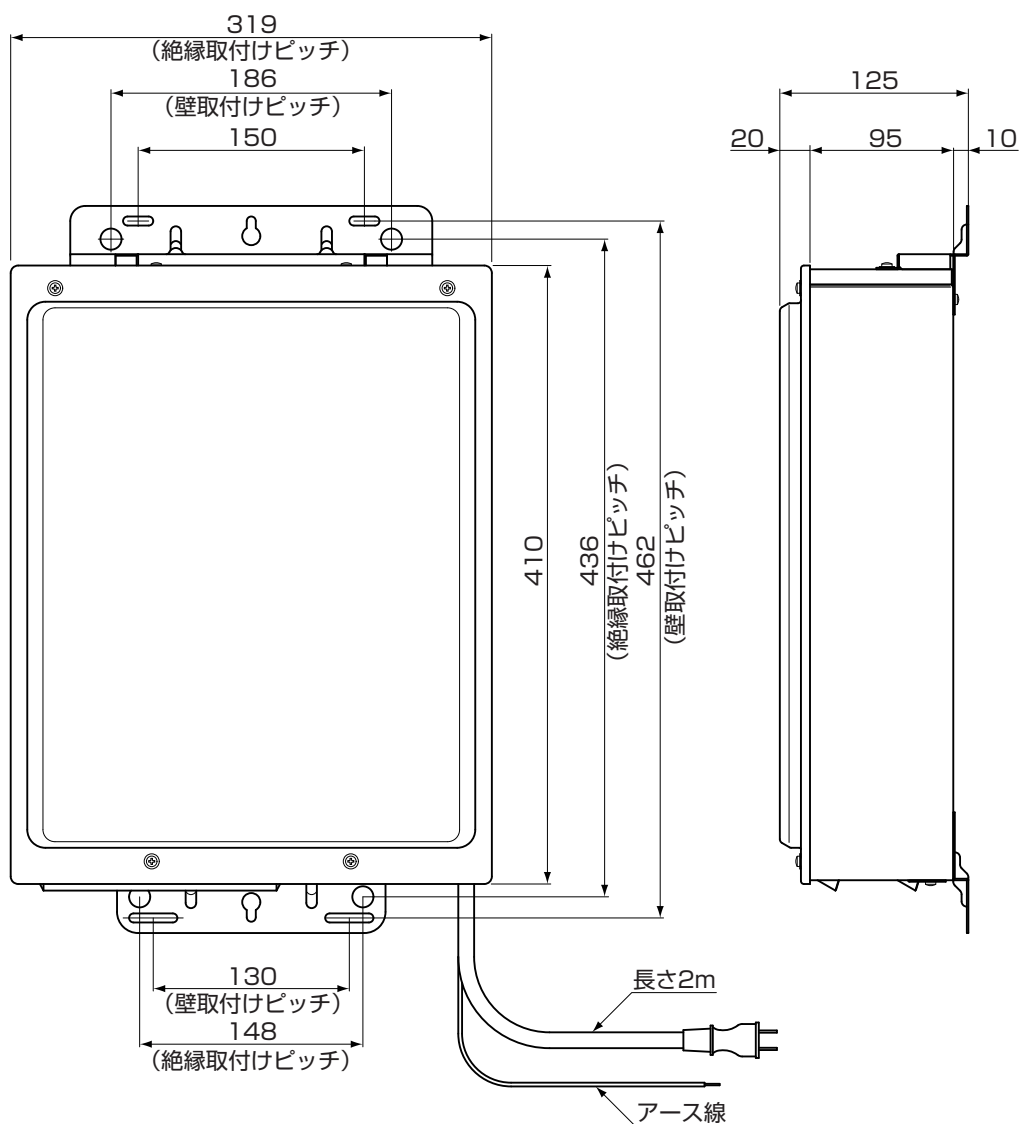
（5）半円型浴槽

〈PVV1810、1830〉

〈PVY150〉

21 1150 1500 234 43

注 自然循環型給湯機および浴槽水浄化保温装置（24時間風呂）は使用できません。

3−2 機能部仕様一覧

電源ボックス

品　　　名	ブローバスSXⅡ　機能部
外　　寸（mm）	319（幅）×125（奥行）×410（高さ）
本 体 質 量	13kg
定 格 電 圧	AC100V
定格周波数	50Hz／60Hz（共用）
定 格 電 流	4.6A
定格消費電力	360W
設 置 場 所	屋外壁掛形

4. 施工手順

6-1. 下地づくり～浴槽据付け（P.24～P.28）

浴槽下地づくり

（1）ブロー防振ゴム脚（注1）の取付け（P.24）

（2）コード取出口の壁開口と防水処理（P.24）

（3）コントローラー取付位置の確認（P.25）

隣接設置用コントローラープレート（注2）下地づくり
（施工説明書は別売品付属）
①養生ボックス取付け・下地モルタル塗り
②養生ボックス取外し・壁穴加工
③埋込みボックス取付け

長尺コード（注3）への交換（P.41）

（4）サヤ管工事とポンプ接続コードの取付け（P.26～P.28）

配水管取付け／浴槽据付け

6-2. 機能部の設置と接続

絶縁板（注4）取付け工事（P.32、P.41）

（1）ポンプ・電源ボックスの取付け（P.29～P.32）

（2）コードの接続（電源ボックス側）（P.33）

（3）電気工事（P.34）

6-3. 確認および試運転

（1）確認（P.35）

（2）試運転（P.35～P.37）

6-4. 仕上げ

浴槽固定／ブロック・レンガ立上げ

タイル仕上げ

ステーパイプセット（注5）の取付け（施工説明書は別売品付属）

（1）コントローラーの取付け（P.38）

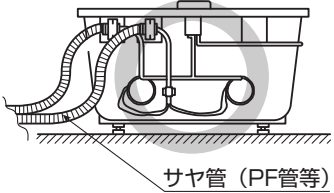
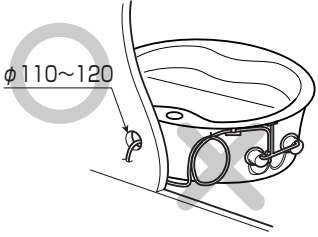
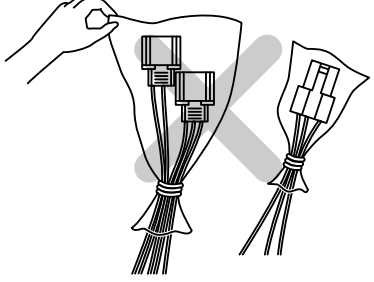
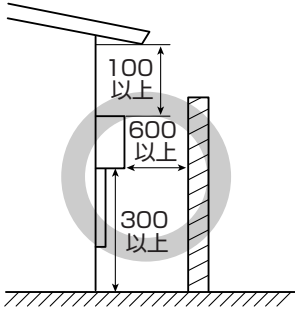
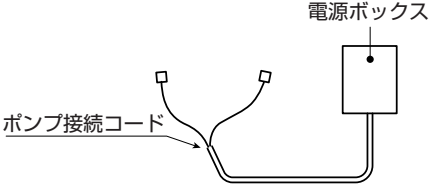
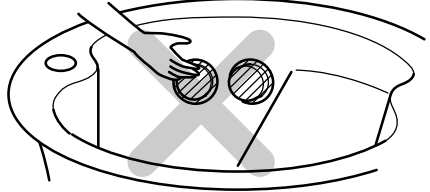
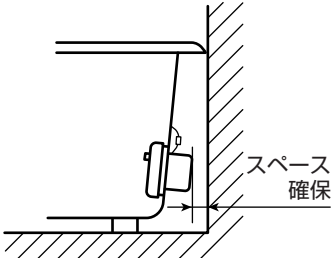
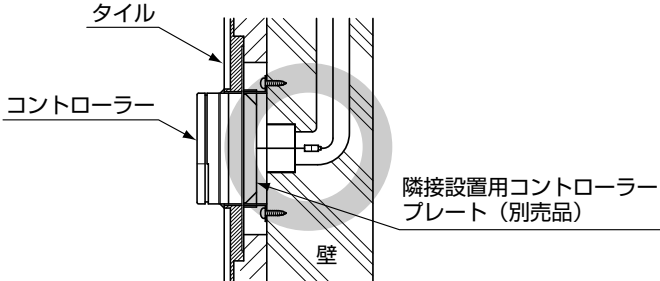
（2）点検口カバー取付け（P.40）

6-5. 最終確認（P.40）

（破線枠）囲み部は浴槽本体の施工です。
詳細については浴槽本体の施工説明書を参照ください。

（点線枠）囲み部は別売品の施工です。
下記の別売品のうち、必要部材を購入の上、施工してください。
くわしくはP.42の別売品一覧をご覧ください。
また、別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって施工を行ってください。

別売品

（注1）ブローバス防振ゴム脚
（品番：PZ6002（4個入り）
PZ6048（5個入り））
（注2）隣接設置用コントローラープレート
2個用（品番：PZ6061）
3個用（品番：PZ6062）
（注3）長尺ポンプ接続コード 15m
（品番：PZ6075）
長尺コントローラーコード 15m
（品番：PZ6076）
（注4）絶縁板（品番：RHG696）
（注5）ステーパイプセット（品番：PZ6060）

5. 施工上の注意

5−1 施工上の注意

●ブローバスSX Ⅱの施工において必ず守ってください。

1 コードを引き廻す際は、必ずサヤ管（PF管など）を使用する

（メンテナンスができなくなります）

2 コードを浴室内で束ねたり、床につけない
また、取出し穴はφ110～120であける

（メンテナンスができなくなります）

3 コードの保護材は、コードを接続するまで取外さない

（破損の原因となります）

4 電源ボックスは、点検できる場所に設置する

（点検できなくなります）

5 電源ボックスは、ポンプ接続コード（8m）が接続可能な範囲で取付ける

（コード長さが足りない場合、浴槽据付け前に、P.41の長尺コードに交換してください）

6 ポンプケースの保護材は、浴槽据付け後、ポンプの取付けまでは取外さない

（破損の原因となります）

7 ポンプを取付けるスペースを確保する
（P.11～P.20寸法図参照）

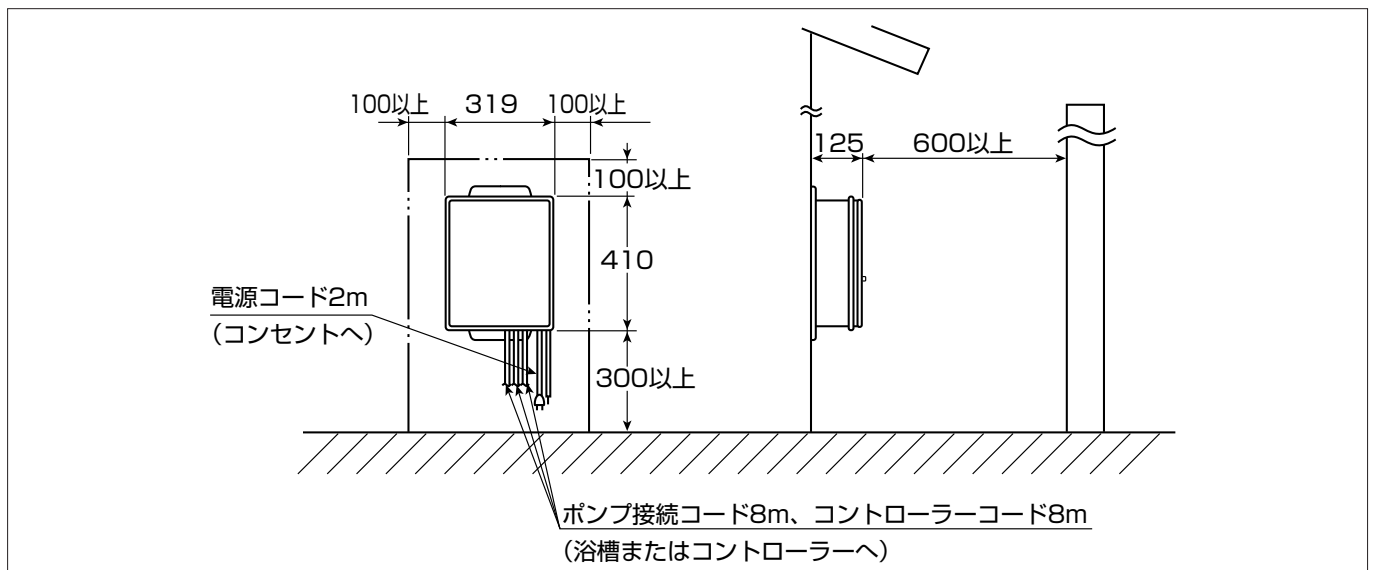
（ポンプの取付けができなくなります）

8 別売品の隣接設置用コントローラープレートを使用する場合は、タイル貼りの前に壁に埋込む施工をする

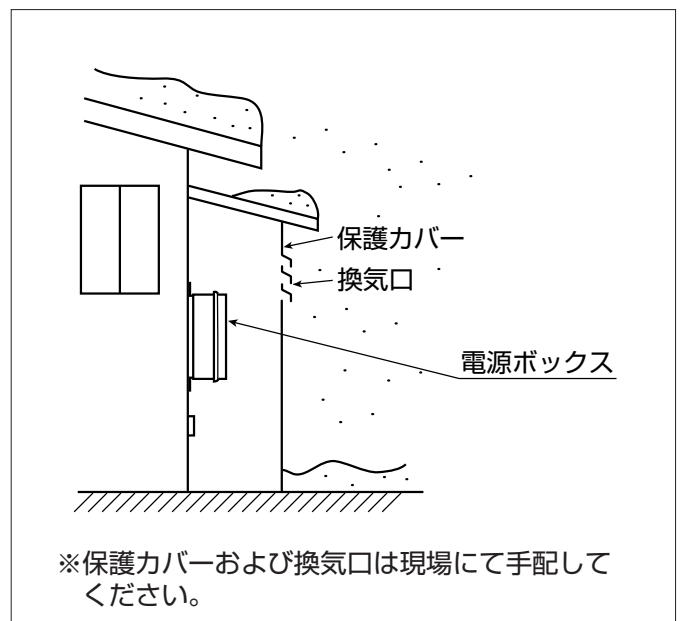
（施工できなくなります）

5-2 電源ボックス設置場所の選定

●電源ボックスの設置に当っては次の点にご注意ください。

●電源ボックスは屋内の浴室外または、屋外で換気の良い場所に設置してください。
●取付け・保守点検のため **下記スペースを確保** してください。
●電源ボックスの設置位置は、電源コード（2m）、ポンプ接続コード（8m）、コントローラーコード（8m）の長さを考慮して決めてください。
（コードの長さが足りない場合、浴槽据付け前にP.41の長尺コードに交換してください。）
●電源ボックスの質量（13kg）に耐えられる **強度のある壁に設置** してください。

●電源ボックスを次のような条件の屋外に設置する場合は、必ず保護カバーと換気口を設けてください。

①海岸地区（塩害による腐食などの防止）
②積雪が予想される地域

※保護カバーおよび換気口は現場にて手配してください。

6. 施工要領

6－1 下地づくり～浴槽据付け

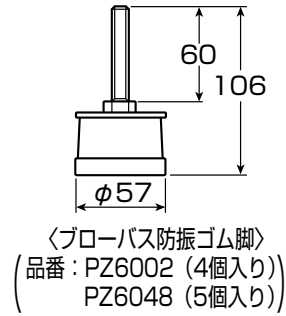
●浴槽の下地づくりの詳細は、浴槽本体の施工説明書を参照ください。

(1) ブローバス防振ゴム脚の取付け 別売品施工

●ブローバス防振ゴム脚を使用する場合は、浴槽据付前に取付けを行ってください。

●ブローバス防振ゴム脚（別売品、品番：PZ6002（4本入り）PZ6048（5本入り））を取付けた場合、脚部の高さが標準品より+17㎜高くなります。
また脚はアジャスターボルトになっており、ねじ込み代によっては高さが上記寸法にならない場合があります。
台座、デッキならびに配管取出口などは、以上を考慮のうえ、設置してください。

●PZ6048はPV※1810、1820、1830、1840、1640、1650、1540、PVY140、150、160、161専用です。（※はV･U･T･Z）

〈ブローバス防振ゴム脚〉
（品番：PZ6002（4個入り）
PZ6048（5個入り））

(2) コード取出口の壁開口と防水処理

〔取出口の壁開口〕

●浴槽を台座に仮設置してください。

●あらかじめスリーブなどで壁に穴がある場合は不要です。

● 浴槽・電源ボックスの設置位置（P.23参照）を考慮してコード取出位置を決め φ110～120㎜程度の穴 を壁にあけてください。

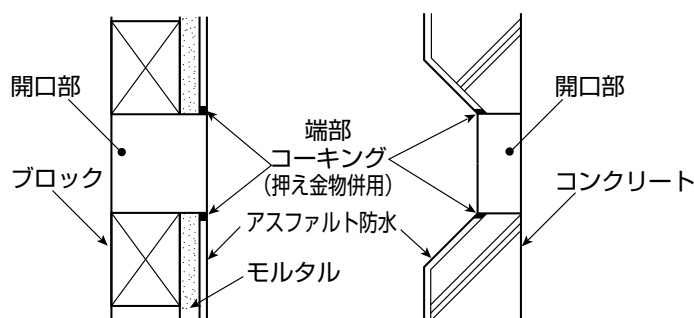
注 メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの壁の場合は、パイプなどでコードの保護を行ってください。

〔壁開口部の防水処理〕

必ず実行

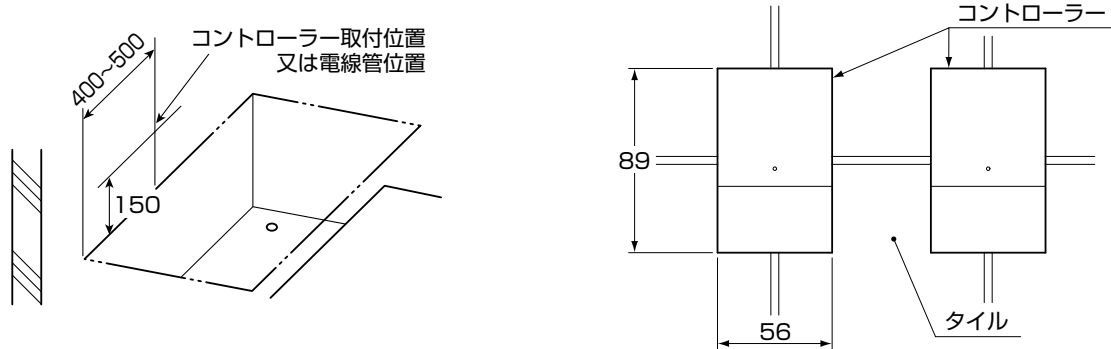
取出開口部の防水処理は、確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

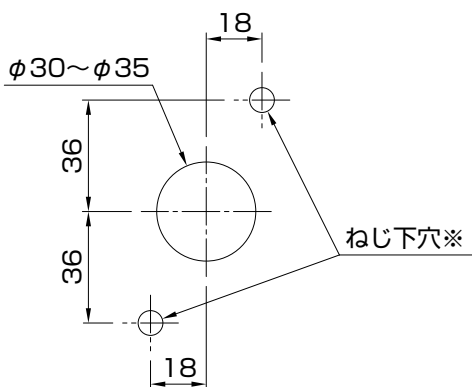
下図にある防水処理例を参考にして壁開口部の防水処理を行ってください。

（防水処理例）

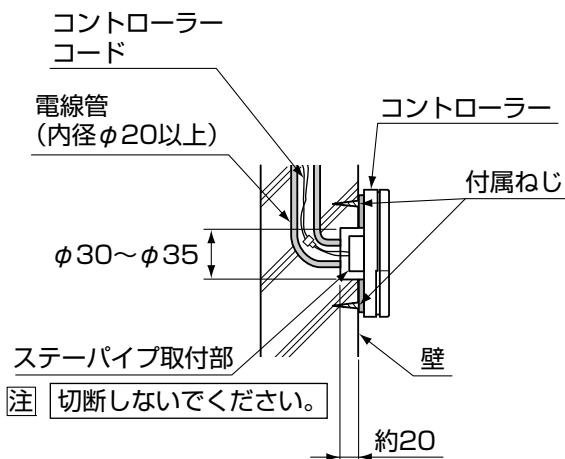
（3）コントローラー取付位置の確認

● タイル貼り基準・浴槽据付基準を確認考慮のうえ、浴槽の中および洗い場から容易に操作が行える位置にコントローラー取付位置墨を決めてください。

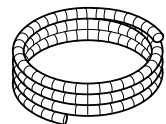
＜施工例＞

注 浴槽上面とコントローラー取付け芯は150mm以上離して取付けてください。
また、インテリアバーを取付ける場合は、コントローラーとの取合にご注意ください。

注 付属のコントローラーコードの長さは8mです。
8m以上必要な場合は、別売品の長尺コード（P41参照）に交換してください。

＜壁けがき・穴あけ＞

コントローラー取付位置をけがき、取付け芯に穴φ30～φ35と、ねじ下穴（2ヶ所）をあけてください。
※ねじ下穴（2ヶ所）は、壁面に直接ねじで固定できる場合は φ2.8であけてください。
※壁材により、ねじを直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ（現場手配）を打込んでください。
・下穴はプラグのサイズに合わせて穴あけしてください。
・プラグは、コントローラー付属ねじφ4×25に合ったものを使用してください。

＜コントローラー取付け＞

事前準備部材（現場手配）

電線管（内径φ20以上）

※現場にあわせて必要な長さ、その他の必要部材を手配してください。

注 事前に壁内に電線管（内径φ20以上）を設置してください。
ステーパイプによる取付けを行う場合は、別売品のステーパイプセット（P41参照）を使用してください。取付け方法は付属の説明書を参照してください。
配線を埋め込むと、メンテナンスができなくなります。

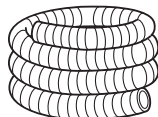
注 コントローラー本体のステーパイプ取付部を切断しないでください。コントローラー内部に水が入り故障するおそれがあります。

注 コントローラーコードはコネクター部を切断しないでください。

（4）サヤ管工事とポンプ接続コードの取付け

〔サヤ管工事〕

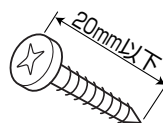
● ポンプ接続コードは、必ずサヤ管（PF管等）を使用して施工してください。
サヤ管（PF管等）を使用しないと、コードのメンテナンスができなくなります。

●事前準備部材（現場手配）

①サヤ管（PF管等）
●内径φ36㎜以上（ポンプ接続コード用）

注 「水道用サヤ管」は固くて曲げ半径が大きくなり、引き回しが難しくなりますので、必ず「電線用サヤ管」を手配してください。

②サドルバンド（サヤ管固定用）
●ポンプ接続コードサヤ管固定用
※サヤ管径に応じたサイズをお選びください。

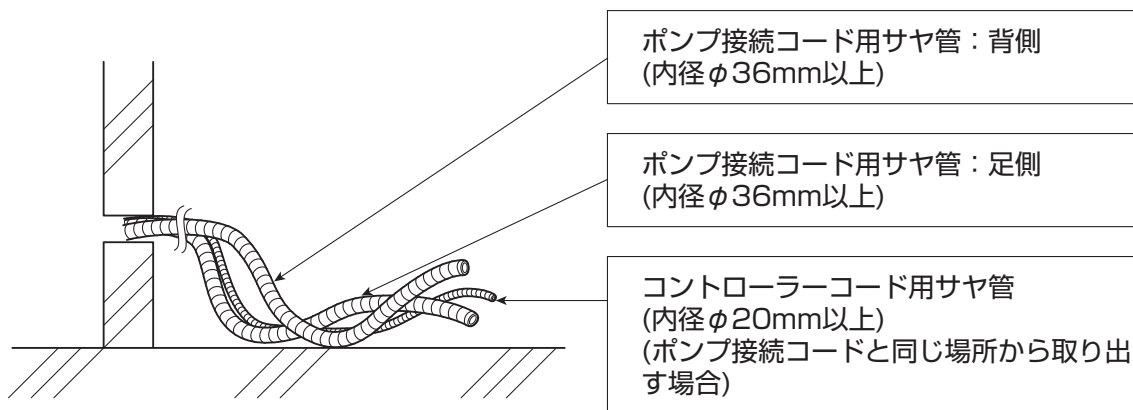
③木ネジ
●サドルバンド固定用

注 ねじ長さは20㎜以下としてください。
浴槽の固定板の厚みが25㎜しかありません。

※各部材については現場に合わせて必要数量を手配してください。

注 サヤ管（PF管等）を浴槽下地づくり前に浴槽据付け部に取り出しておいてください。

ポンプ接続コード用サヤ管：背側
(内径φ36mm以上)

ポンプ接続コード用サヤ管：足側
(内径φ36mm以上)

コントローラーコード用サヤ管
(内径φ20mm以上)
(ポンプ接続コードと同じ場所から取り出す場合)

〔ポンプ接続コード取付（浴槽側）〕

●事前に取り出しておいたサヤ管（PF管等）にポンプ接続コードを通してください。（2本）

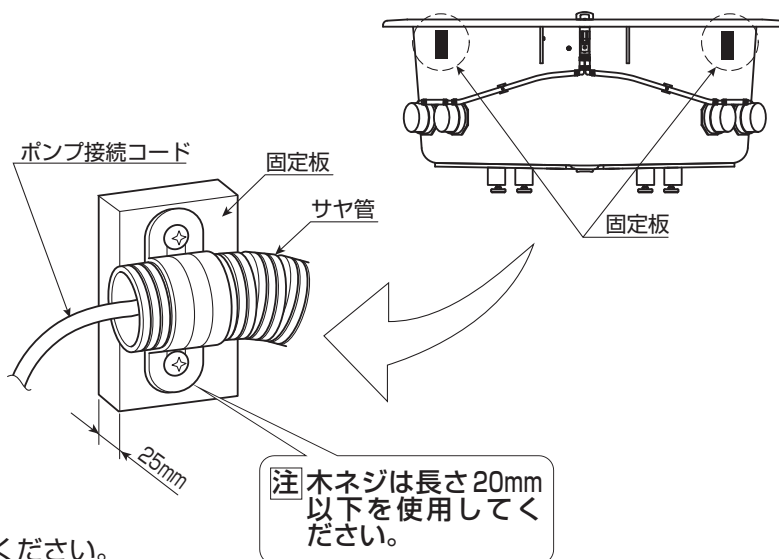
※ポンプ接続コードには「背側」「足側」のラベルを貼っていますが、PVV1620、PVV1410以外はどちらを接続しても動作に影響はありません。
（PVV1620、PVV1410については本ページ下図をご参照ください。）

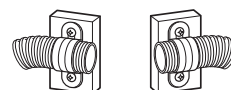
●浴槽についている固定板にサドルバンドでサヤ管（PF管等）を固定してください。

【参考】

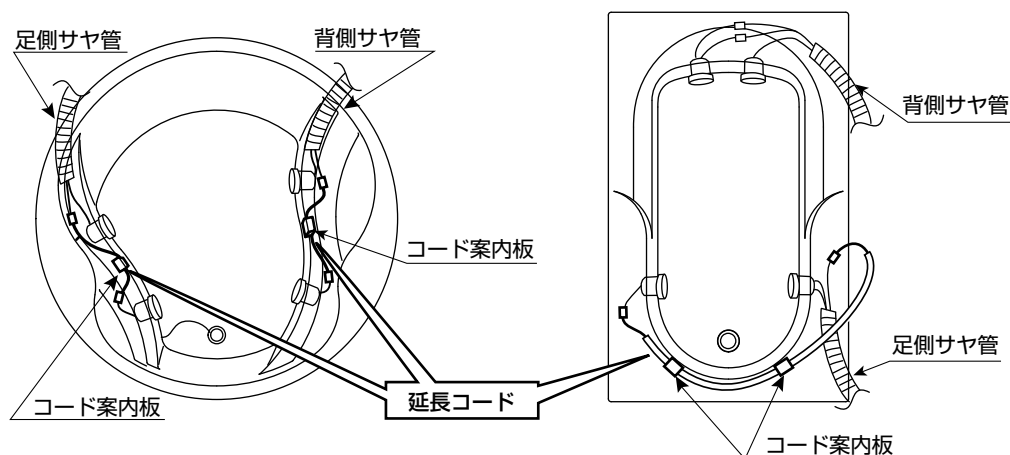
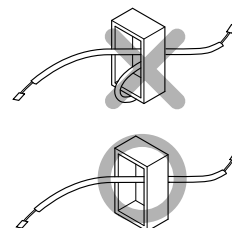
ポンプ接続コード用

・サヤ管…内径φ36以上

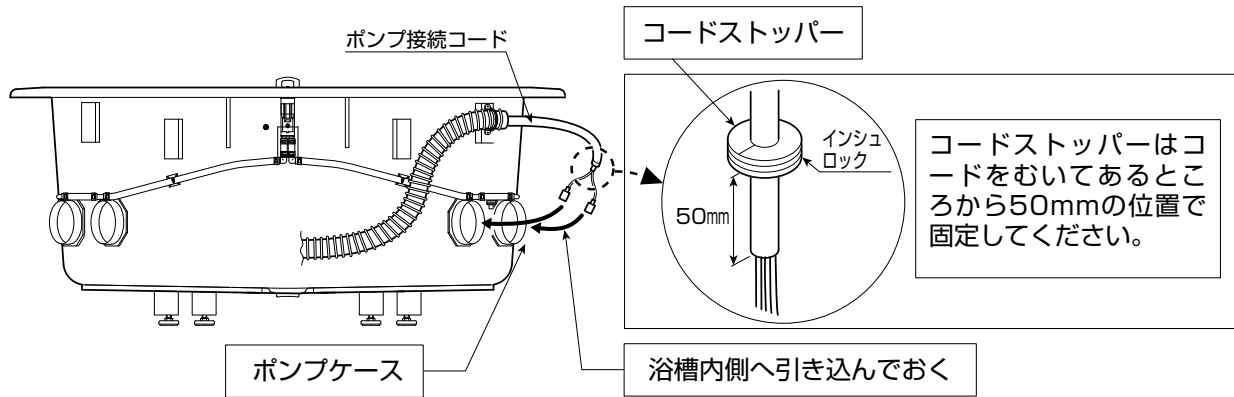
※サドルバンドはサヤ管径に応じたサイズをお選びください。

注 サヤ管の出口は固定板の端に合せてください。

注：固定板へのサヤ管固定については現場の引き回し（点検口位置）に応じ、固定板に対する取り出し方向を変更して取付けてください。

注：ポンプ接続コードの施工については必ずサヤ管を使用してください。メンテナンスが出来なくなります。

●PVV1620およびPVV1410の場合、付属の延長コードを下図のように接続してください。

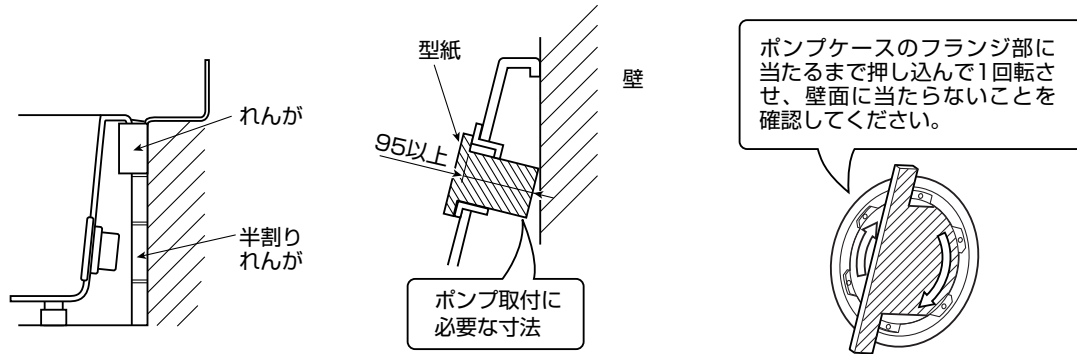
〈PVV1620の場合〉　〈PVV1410の場合〉

注 延長コードは必ずコード案内板に通してください。メンテナンスができなくなります。

〔コードストッパー取付け〕

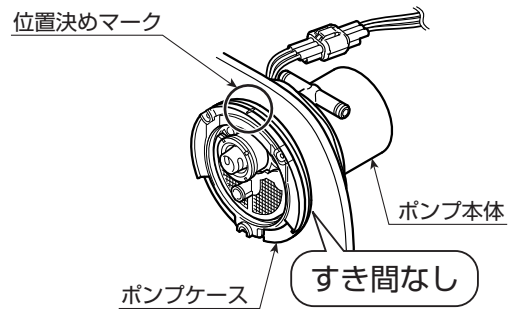
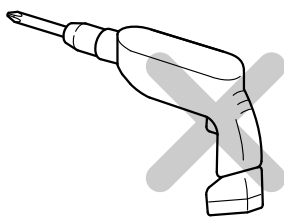
●ポンプ接続コードにコードストッパーを固定し、コネクタ部をポンプケースから浴槽内側に引き出してください。

6−2 機能部の設置と接続

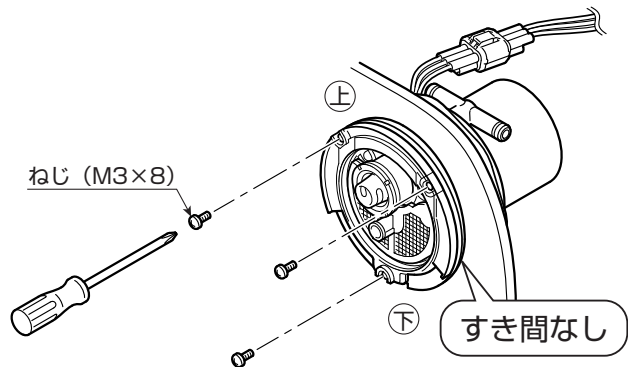
（1）ポンプ・電源ボックスの取付け

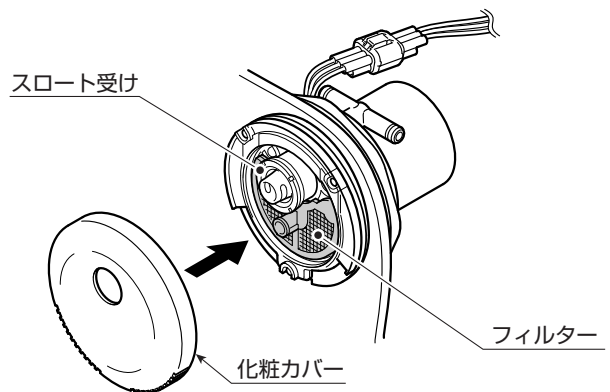
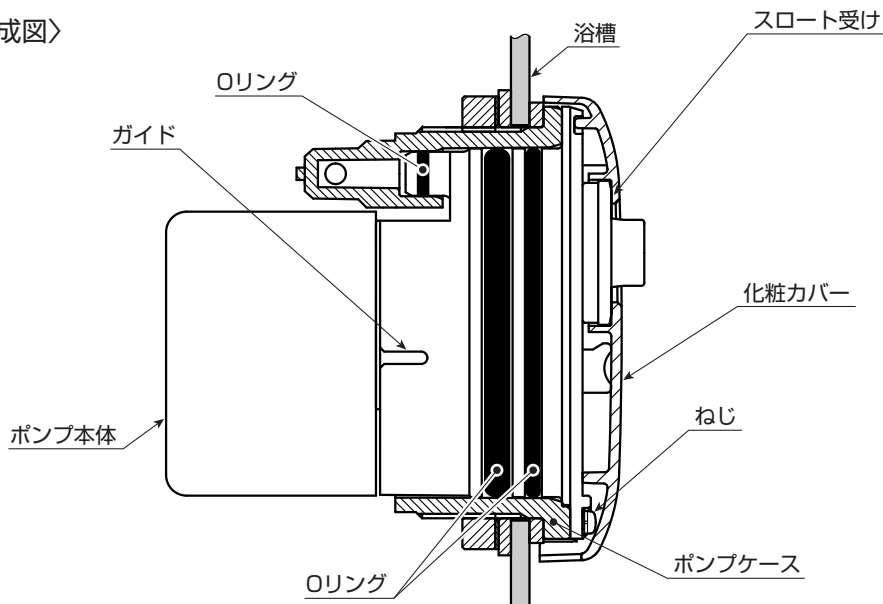
〔ポンプ取付け〕

注 付属のポンプ取合確認用型紙にてポンプが干渉しないことを確認してください。

① ポンプケース・エアー接続部にキズ・ゴミ・汚れがないか確認してください。	ポンプケース エアー接続部 養生材 ポンプケース
② ポンプ本体のコネクタとポンプ接続コードのコネクタを接続してください。 ※ コネクタは“カチッ”と音がするまで確実に取付けてください。	ポンプ接続コード ポンプ本体
③ ポンプOリング部に巻いてある養生テープをはがしてください。 （Oリング（3個）が確実についていることを確認してください。）	はがす Oリング 養生テープ ポンプ本体 Oリング
④ ポンプ本体上下及びポンプ本体とポンプケースのガイド位置を確認してください。	ポンプケース ポンプ 上 下 ガイド

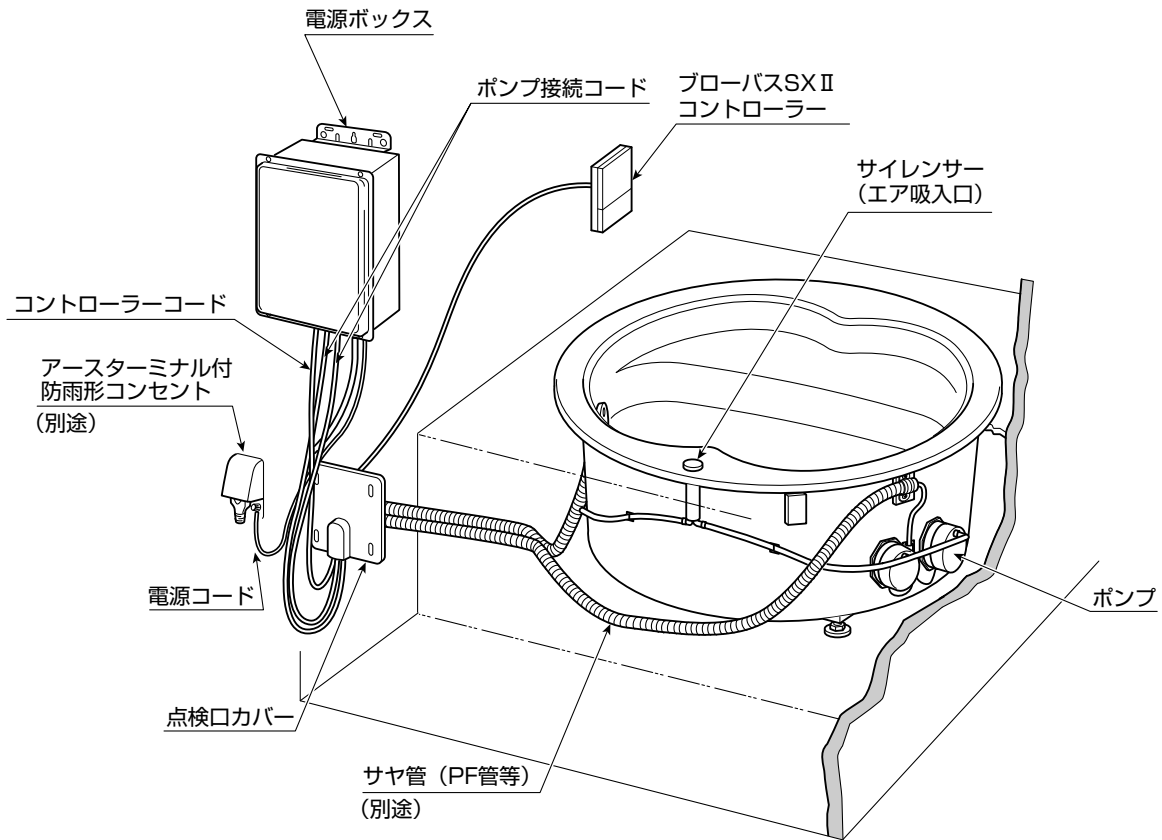
⑤ 先にコネクタを通し、コネクタがポンプ本体に乗り上げないように注意してポンプ本体とポンプケース中央上のマークを合わせるように入れてください。

※ポンプ本体挿入時Oリングが入りにくいのでポンプ本体を強く手で押して、Oリングが外れないように注意しポンプとポンプケースにすき間がないように押込んでください。
※コネクタがポンプ本体に乗り上げているとエアー接続部にコネクタがあたりポンプ本体が入りません。

⑥ ポンプ本体とポンプケースをねじ（M3）3本でドライバーにて締付けてください。

電動ドライバー使用禁止

（ねじ頭が変形してメンテナンスができなくなります。）

※ポンプ本体とポンプケースのすき間がないように確実に取付けてください。
※締めすぎにより、ねじの頭が変形してけがをするおそれのあるものは、予備のねじと交換してください。

⑦ ポンプ本体にフィルターが付いていることを確認しスロート受けに合わせてポンプ本体に化粧カバーを取付けてください。

〈ポンプ組付け完成図〉

〔電源ボックスの取付け〕

⚠ 警告		
	 必ず実行	**電源ボックスの取付けは、質量に十分耐える強度のある壁に施工説明書通りに確実に行う** 工事に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。
	 禁　止	**メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取付ける場合、電源ボックスと造営物とは電気的に接続しない** 感電や発熱・火災の原因となります。

●設置図

●浴槽のポンプやコントローラーと電源ボックスをつなぐコードの長さはポンプ接続コード（8m）、コントローラーコード（8m）です。電源ボックスはコード接続可能な範囲で取付けてください。コード長さが足りない場合、浴槽据付け前にP.41の長尺コード（別売品）に交換してください。

●電源ボックスの電源コードの長さは2mです。コードの届く範囲で設置してください。

●電源ボックスは浴室外で点検の可能な換気の良い場所に設置してください。

●電源ボックスは屋外設置可能ですが、次のような条件では、電源ボックスに保護カバーを取付けてください。

① 海岸地区（塩害による腐食などの予防）

② 積雪が予想される地域
（くわしくは、P.23をご参照ください。）

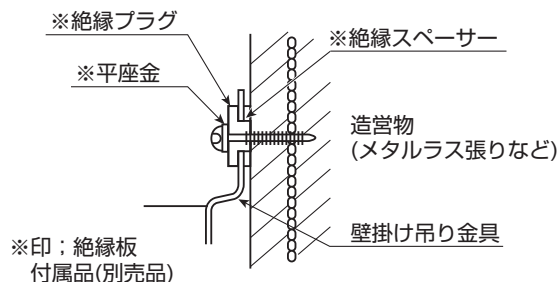
●取付けに必要なねじは 現場にて適切なねじ を準備してください。

① ねじの取付位置は壁取付用と絶縁板取付用があります。	壁掛け吊り金具 壁取付用穴 絶縁板取付用穴
② 壁に取付位置を決め、ねじを仮止めしてください。	
③ 電源ボックスをねじに引掛けてください。	
④ 電源ボックスの水平を出し、上側３本、下側２本の 計５本のねじ を壁取付用穴から止めてください。	

〈メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物の場合〉

絶縁板の取付け

電気設備技術基準により、メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電気機器を取付ける場合、機器と造営物とは、電気的に接続しないように施設 しなければなりません。
したがって右図のような施工が必要となります。

● 絶縁板取付けの詳細は別売品絶縁板（品番ＲＨＧ696）の施工説明書をご参照ください。

注 絶縁板の取付けは壁掛け吊り金具の絶縁板取付用穴を使用してください。

（2）コードの接続（電源ボックス側）

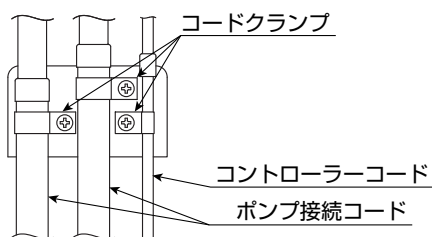
① サービスカバーを取外してください。
（ねじ４本）

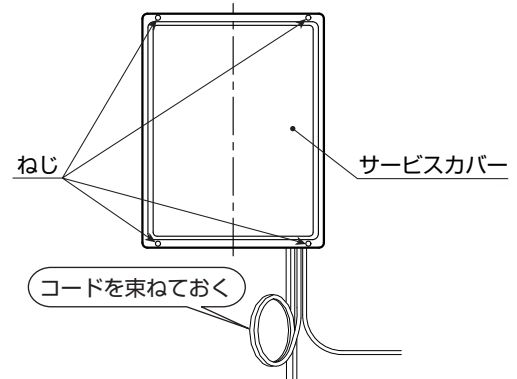
② 電源ボックス底面のクランプ受けを取外してください。

③ クランプ受けにポンプ接続コード２本、コントローラーコード１本をコードクランプで固定してください。

（電源ボックスのコネクタと接続できる位置でコードクランプを固定してください。）

④ コードの電源ボックス側コネクタを電源ボックス底面の開口部から通し、電源ボックスとコードのコネクタを接続してください。

⑤ クランプ受けを電源ボックス底面の開口部に差込み、ねじで固定してください。

⑥ サービスカバーを取付けてください。（ねじ４本）

⑦ 余ったコードを束ねてください。
※コードは浴室内に入れないでください。
（コードのメンテナンスができなくなります。）

（3）電気工事

必ず実行

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
アースターミナル付防雨形コンセントを使用する（D種接地工事）

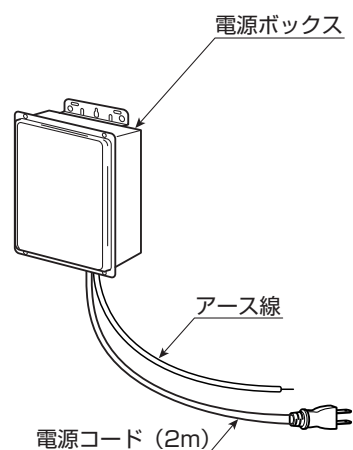
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

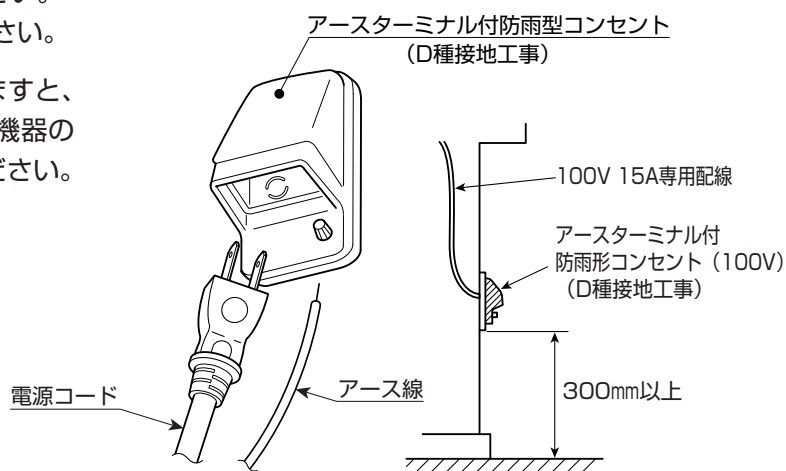
禁　止

電源コードの加工や延長コードの使用、また、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。

電気工事

① 電源コード（電源ボックスにセット）の有効長さは2ｍです。
この電源ボックスの電源は交流100Ｖ（50/60Hz共用）、定格消費電力は360Ｗです。

② 電源コードの届く範囲内にアースターミナル付防雨形コンセント（Ｄ種接地工事）を設けてください。
100Ｖ 15Ａの専用コンセントを使用してください。

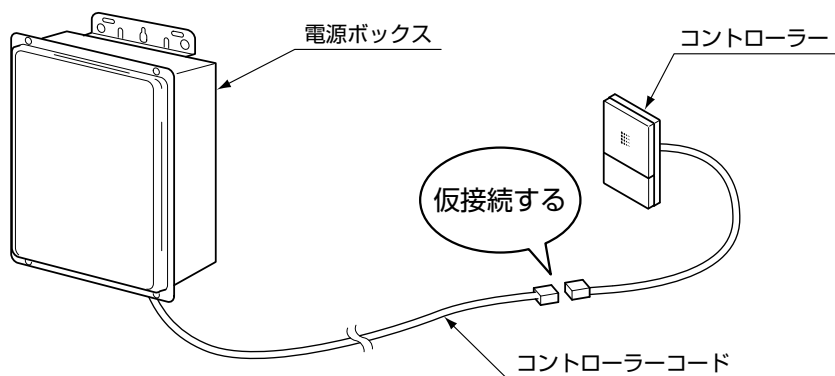
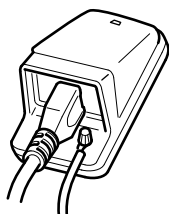
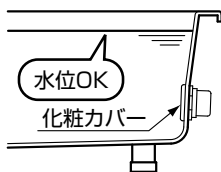
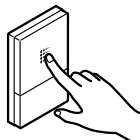
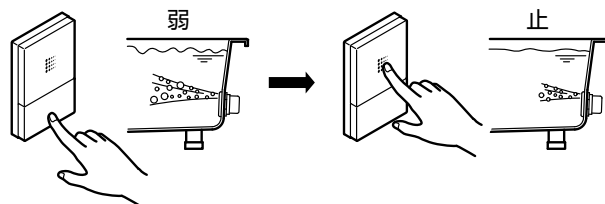
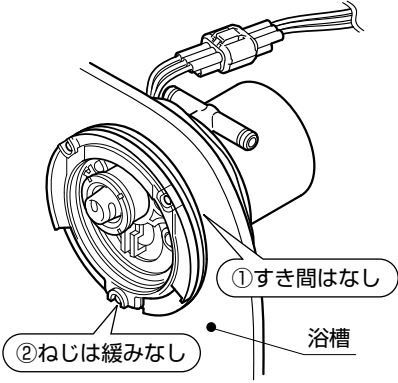
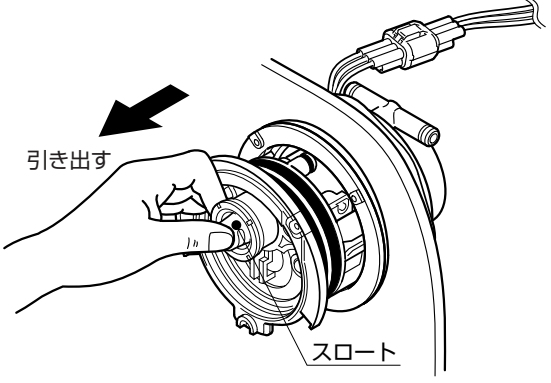
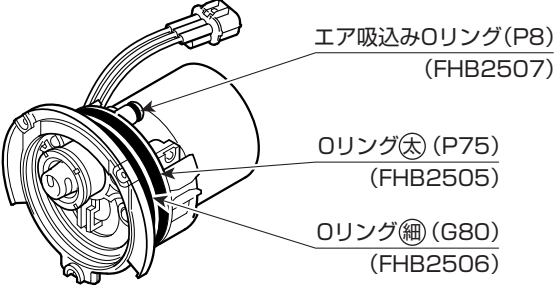
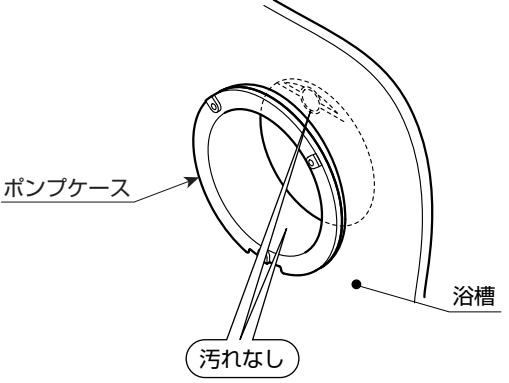
※ 同一コンセントより照明器具などを使用されますと、運転時の起動電流により照明のチラツキや他機器の誤動作の原因となりますので使用しないでください。

6－3 確認および試運転

（1）確認

● 設置ならびに工事が終わりましたら、以下の内容で確認および試運転を行ってください。

● 電源ボックスの周辺に、点検・修理など保守管理に必要な空間があるか確認してください。
● 余ったコードは邪魔にならないようにまとめてあるか確認してください。

（2）試運転

● 以下の手順で試運転を行ってください。
コントローラーを電源ボックスのコントローラーコードに仮接続してください。

① 電源プラグを確実にコンセントに差込んでください。

② ポンプの化粧カバーが完全に水没するまで給水してください。
※ブロー運転時、化粧カバーが完全に水没していないと正常なブロー運転をしません。

③ コントローラーのメインスイッチを押し、噴流が出ることを確認してください。

④ コントローラーのモードのスイッチを押して弱運転（噴流が弱くなる）になることを確認してください。確認後、メインスイッチを押して噴流を止めてください。

⑤ そのまま30分以上放置し、水位の低下がないか確認してください。
（浴槽裏面が見える場合は目視で確認してください。）
➡ 水位の低下がある場合は一度浴槽水を排水し、『漏水時の処置』を実施し、再度③～⑤の確認を行ってください。
⑥ 水位低下がないことを確認後、浴槽の水を抜いてください。
⑦ お客様が長期間ご使用にならない場合には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

● 漏水時の処置

<table>
<tr><td>

■ ポンプ取付け状態での確認

① ポンプケースとポンプの間にすき間はありませんか？
（処置方法）
ポンプを押込んですき間をなくして取付けてください。

</td><td rowspan="2">

</td></tr>
<tr><td>

② ねじは３本緩みなく確実に締められていますか？
（処置方法）
ねじを締付けてください。

</td></tr>
<tr><td>

■ ポンプを外して確認

● ポンプはスロートを持ってゆっくり手前に引出してください。

</td><td>

</td></tr>
<tr><td>

③ Oリング（P75、G80、P8）によじれ、切れ、汚れはありませんか？
（対処方法）
キズ・よじれ、汚れを直す。切れている場合は部品を手配してください。
（品番は右図参照）

</td><td>

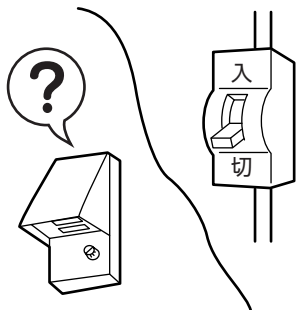
</td></tr>
<tr><td>

④ ポンプケースに汚れはありませんか？
（処置方法）
汚れを取り除いてください。

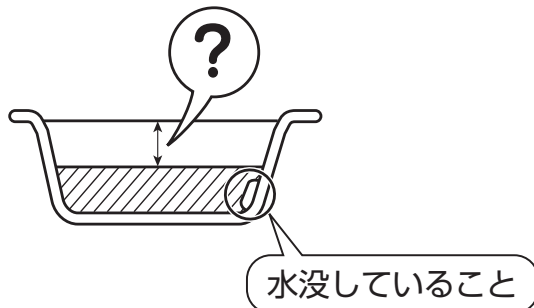
</td><td>

</td></tr>
</table>

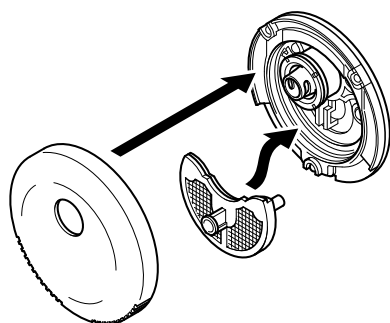
● 試運転時に動作しない場合、すぐ故障ときめつけず、次のことを確認してください。

①電源電圧は正規にきていますか？

処置方法

電源電圧を確認してください。

②浴槽の水位は標準水位に達していますか？

処置方法

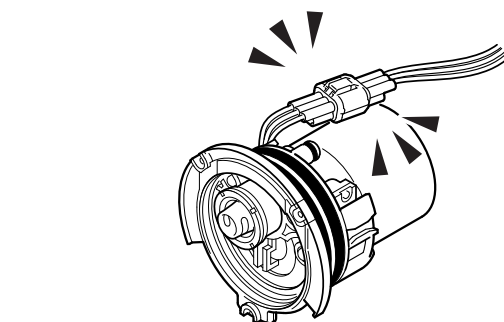
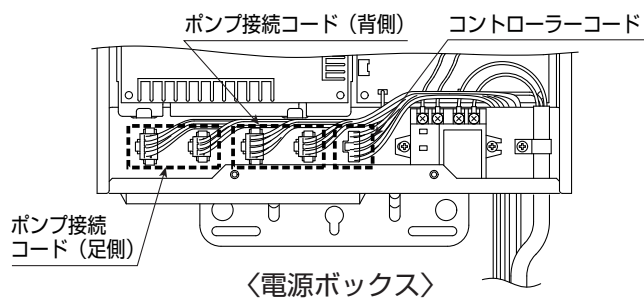
浴槽のポンプの化粧カバーが完全に水没するまで給水してください。

③化粧カバー・フィルターは正しくセットされていますか？

処置方法

化粧カバー・フィルターを正しくセットしてください。
※化粧カバー・フィルターが正しくセットされていないとポンプが作動しません。

④コントローラーコード及びポンプ接続コードは確実に接続されていますか？

〈電源ボックス〉

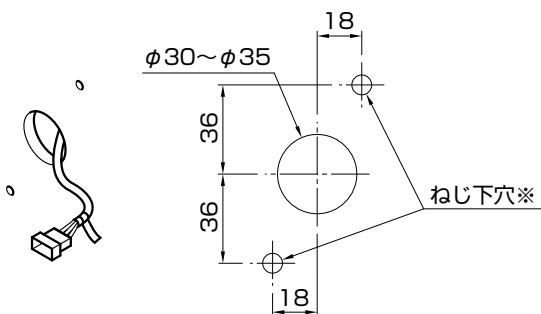
〈ポンプ〉

処置方法

コネクタを正しく接続してください。

6−4 仕上げ

●浴槽の仕上げの詳細は、浴槽本体の施工説明書を参照してください。

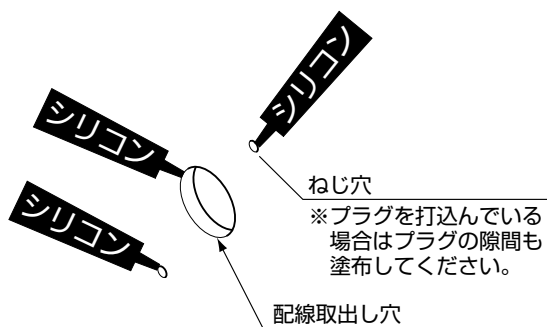
（1）コントローラーの取付け

①電源ボックス側より引き込んだコントローラーコードを取り出します。

※ねじ下穴（2ヶ所）は、壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8であけてください。

※壁材により、ねじが直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ（現場手配）を打込んでください。

・下穴はプラグのサイズに合せて穴あけしてください。

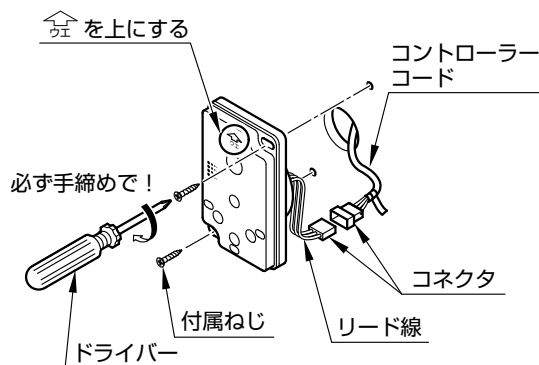
・プラグは、コントローラー付属ねじφ4×25に合ったものを使用してください。

②配線の取出し穴の全周と、ねじ穴にシリコンを塗布します。

③コネクタを接続し、コントローラー付属ねじでコントローラーを固定します。
※取付けの際、水平を確認しながら傾きがないように取付けてください。

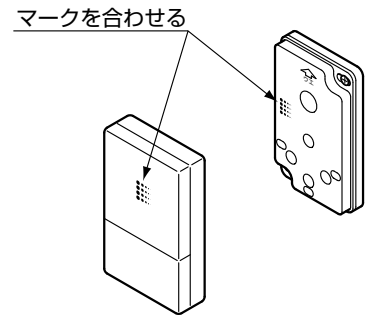
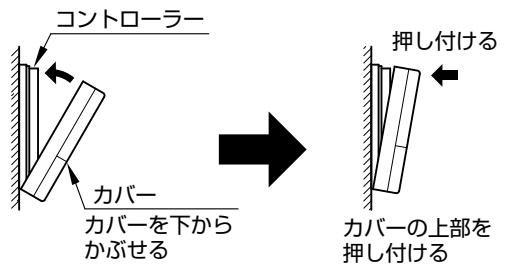
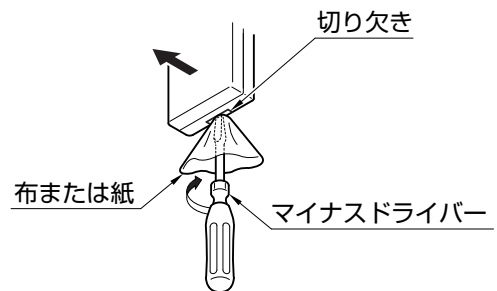
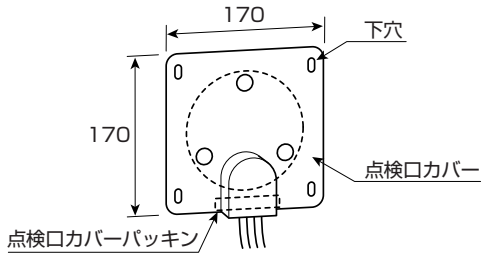
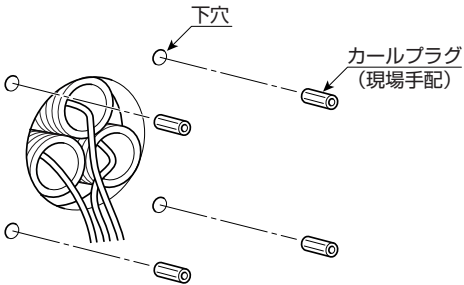
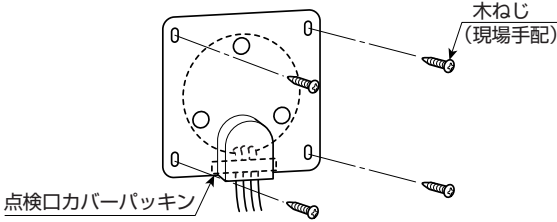
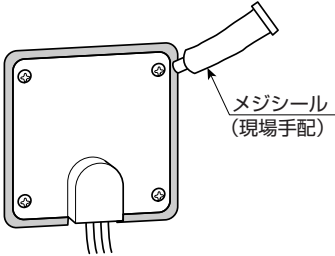
電動ドライバーは使用しない

強く締め過ぎると破損します。

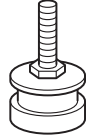
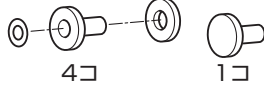
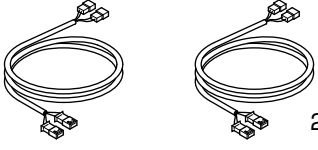
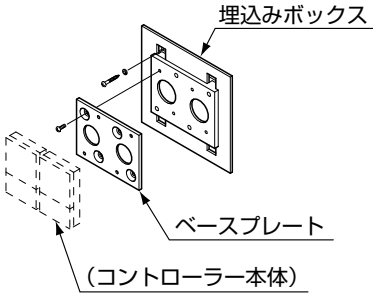
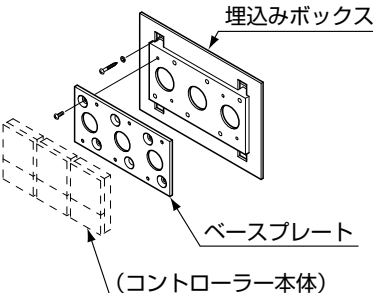
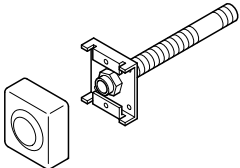
⚠注意

コントローラーコードと、コントローラーのリード線のコネクターの色・芯数・名称タグを合わせて接続する

④コントローラーカバーを取付けます。
※取付けの際、カバーを間違えないように注意してください。

コントローラーの外周はコーキングしない

カバーが外れなくなります。

【カバーの取付け方法】 ※コントローラーカバーは確実に取付けてください。 操作できなくなります。	
【カバーの取外し方法】 ※カバーを取り外すときは、傷がつかないように布や紙をあてたマイナスドライバーで軽くひねってください。	

（2）点検口カバーの取付け

木ねじ、カールプラグは現場にて手配願います。

① コード取出し穴に点検口カバーを現物合わせして下穴位置をけがく。（4カ所） ※ 点検口カバーパッキンでコードを押さえる位置になるようにセットしてください。	
② 下穴位置にドリルで穴をあけ、カールプラグをプラスチックハンマーで打込む。	
③ 点検口カバーパッキンでポンプ接続コードを押えるように点検口カバーをセットし、木ねじで固定する。	
④ 点検口カバー周囲をコーキングする。	

6−5 最終確認

●全ての工事、設置が完了しましたらP.35「確認および試運転」の要領で再度、確認・試運転を行ってください。

7. 別売品

● 別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって取付工事を行ってください。

品　名	品　番	希望小売価格	必要数/台	形　　状	用　途
ブローバス 防振ゴム脚	PZ6002 （4個入り）	￥ 23,000 （税込￥ 24,150）	1		ブローバスＳＸⅡ運転中の作動音が階下や隣室に伝わるのを防ぐために使用します。
	PZ6048 （5個入り）	￥ 28,800 （税込￥ 30,240）			
絶縁板	RHG696	￥ 320 （税込￥ 336）	1	4コ　1コ	壁と壁掛け式機能部とを絶縁するためのセットです。
長尺ポンプ接続コード （15m、交換用）	PZ6075	￥ 25,000 （税込￥ 26,250）	1	2本	電源ボックスを浴槽と標準以上に離れた位置に設置した場合、付属のコードでは電源ボックスに届かないことがあります。 その場合に使用します。
長尺コントローラーコード （15m、交換用）	PZ6076	￥ 10,000 （税込￥ 10,500）	1		
隣接設置用 コントローラープレート（2個用）	PZ6061	￥ 20,000 （税込￥ 21,000）	1	埋込みボックス ベースプレート （コントローラー本体）	コントローラーをタイル壁などに隣接（隙間約5mm）して設定する場合に使用します。
隣接設置用 コントローラープレート（3個用）	PZ6062	￥ 22,000 （税込￥ 23,100）	1	埋込みボックス ベースプレート （コントローラー本体）	
ステーパイプセット	PZ6060	￥ 2,300 （税込￥ 2,415）	1		コントローラーを壁に取り付けるときに最大壁厚220mmまで対応可能なステーパイプのセットです。
長尺ステーパイプ	FH77	￥ 3,000 （税込￥ 3,150）	1		壁の厚みが220mm以上の場合、最大壁厚400mmまで対応可能なステーパイプです。